



▶▶▶ 現在、ワーカーズ共済の『保障内容改定』を検討中です ▶▶▶

ワーカーズ共済(株)は設立11年目を迎え、大きな保障内容の改定を検討しています。
改定については、共済だより9月号(ワーカーズ共済の現状)・10月号(改定保障内容について)2回に渡ってお知らせしていきます。

ワーカーズ共済の現状

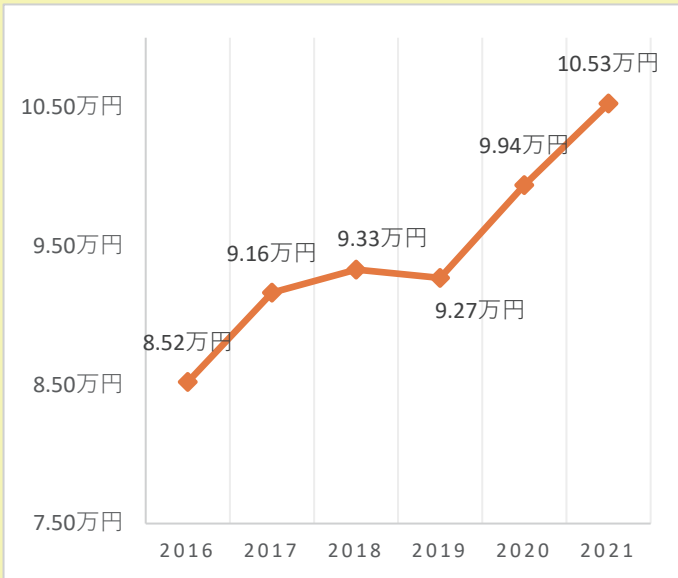
ワーカーズ共済は自主共済として神奈川で誕生して以来、一貫してワーカーズメンバーの労働をサポートしてきました。そして、2012年に少額短期保険事業登録後も、「お互い様のたすけあい」を基本とし共済の理念を実践してきました。



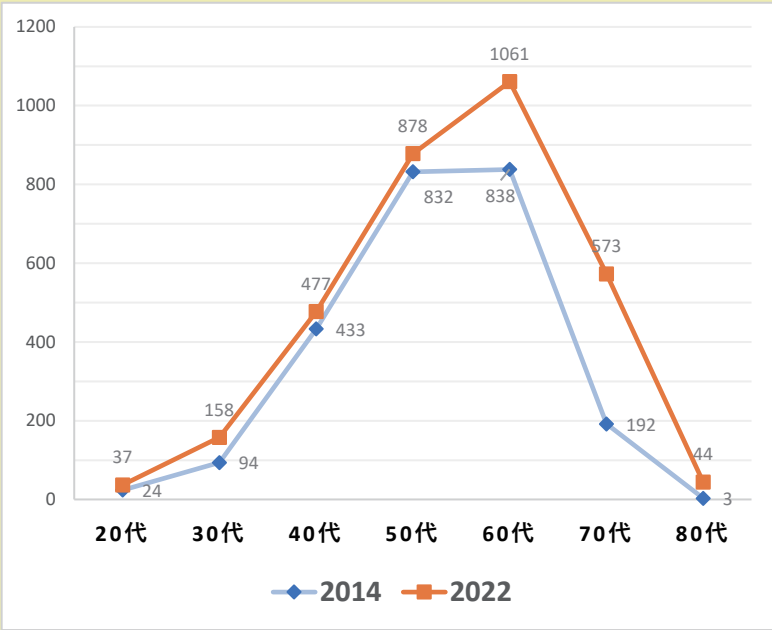
仕事中に思わぬ事故にあった時、長期間病気療養を行わなくてはならなくなった時など
「ゆっくり治してね、でも戻ってくるのを待っている」といったメンバー同士のたすけあいにホッとしたという申請者の声があがっています。

このような中で、ワーカーズ共済の加入者は、皆さんのご協力のもと全国に拡がりました。しかし、ワーカーズメンバーの高齢化・分配金額増加による保険金額の増加など、ワーカーズ共済の今後の継続性が課題として浮上してきています。

●ワーカーズ共済申請者の平均分配金月額推移 (2016年度～2021年度)



●加入者年代推移 (2014年と2022年比較)



70～80代の加入者が増加、平均分配金月額は10万円を超えてきています。



※休業保障は平均分配金月額を元に計算しています。

加入者数1.5倍、保険金額は約2倍に増加

ワーカーズ共済の加入者は全国に拡がり、2020 年からは個人加入も開始したことにより 2012 年 2185 名から 2022 年 9 月現在は 3,226 名となり約 1.5 倍となりました。

一方で保険金は 2013 年 10,598,440 円から 2021 年 20,267,110 円と約 2 倍増加しました。

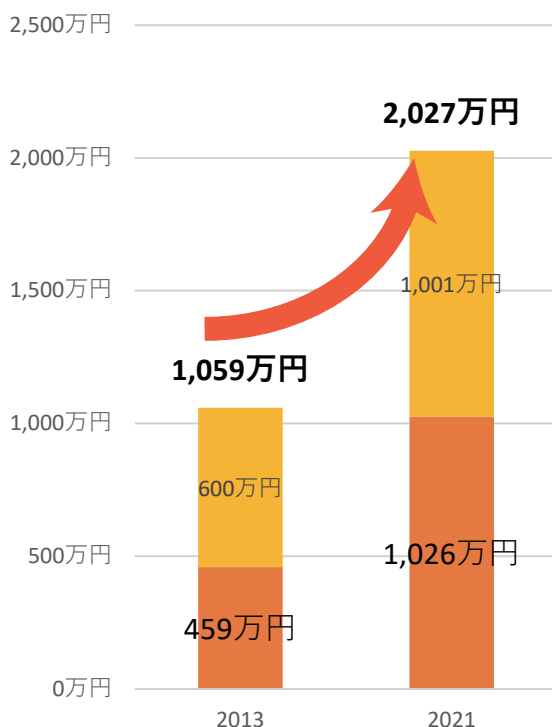
(2012 年度は自主共済と 2 本立てなので比較していません。)

保険金の中で、特に病気休業保障が半分以上の額を占め、病気の多様化・長期化が目立っています。



●保険金額推移 (2013 年度～ 2021 年度)

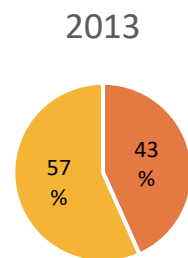
●総保険金額内訳推移



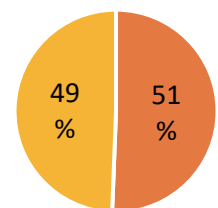
加入者数は約 1.5 倍、
保険金額は約 **2 倍** 増加



■ 病気休業保障
■ その他の保障



2021



■ 病気休業保障
■ その他の保障

これからのワーカーズ・コレクティブ共済

ワーカーズ共済では 2021 年 11 月からワーカーズ・コレクティブ所得保障共済制度保障検討チーム*を設置し、ワーカーズ共済の継続性を担保するためにどのような保障にしていったらよいかを検討してきました。9 月取締役会に改定案をまとめ提案します。取締役会で承認後、加入者の皆さんに説明するために「共済だより 10 月号」を臨時発行し、説明会開催をお知らせします。説明会にぜひご参加下さい。

次号「共済だより 10 月号」もお見逃しなく！

* チームメンバー：神奈川・北海道・関西の連合組織
ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン代表
ワーカーズ・コレクティブ共済(株) 取締役



発行日 2022 年 9 月 1 日
発行責任者 島田 純子
発行者
ワーカーズ・コレクティブ共済株式会社

〒231-0006
横浜市中区南仲通 4-39 石橋ビル 3F
TEL:045-662-4346 / FAX:045-681-3677
URL <http://www.wco-kyousai.com/>